3　農水産物の国内はん売の取り組み

①農水産物の国内での流通

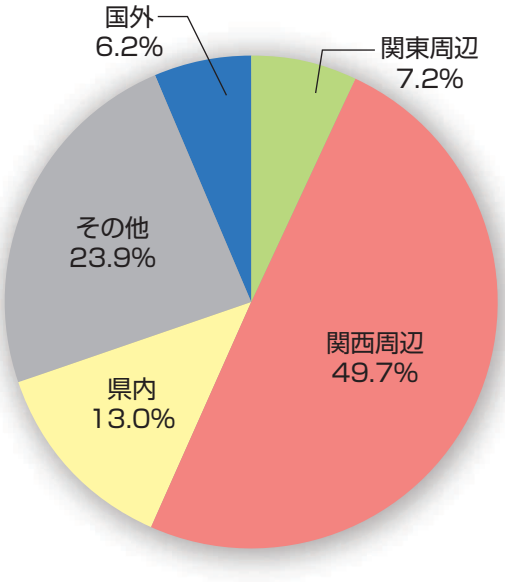
鳥取県を代表する「なし」，「すいか」などの特産品は，東京，大阪といった大都市を中心に全国へ向けて出荷されています。

例えば，鳥取県産のなしは，全体の約９割が県外に出荷されており，このうちの約５割は大阪を中心とする関西地区です。

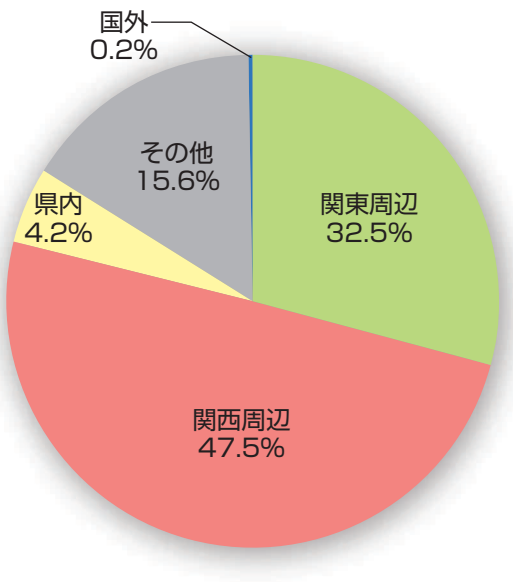
また，すいかは，全体の９割以上が県外へ出荷されており，その内わけは約５割が関西地区，約３割が関東地区です。

なし，すいかともに市場に出荷された後は，卸会社や仲卸を通じてデパートやスーパーなどではん売されています。

県産なしの出荷先（%）



県産すいかの出荷先（%）



［2024年/JA全農とっとり］

②大都市圏での県産品ＰＲの取り組み

鳥取県では，東京や大阪，名古屋など大都市圏のデパートやスーパーなどで，「鳥取すいか」，「なし」，「松葉がに」，「鳥取和牛」など，県内の農水産物の旬の時期にフェアなどを開催し，旬の食材のみ力を消費者にＰＲしています。



首都圏のデパートで二十世紀梨のふるさと千葉県といっしょになしをPR

また，２０１４年（平成２６年）には，東京の新橋駅近くに鳥取県と岡山県が共同で，アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」をオープンしました。両県特産の農産物や加工品，民工芸品などがはん売されているほか，特産品を使ったレストラン，観光や移住および就職についてのコーナーなどがあり，年間約４５万人が来店されています。

こうした取り組みを通じて，鳥取県ならではの旬のおいしい農水産物を全国におとどけしています。



東京にある鳥取・岡山両県の特産品がそろう「とっとり・おかやま新橋館」



「とっとり・おかやま新橋館」2階レストランでは鳥取の食材を使ったメニューが食べられる